

## 平成 29 年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

宮城県

行 事 名 称	平成 29 年度登米市文化財防火デー防火訓練・文化財講話
実施期間・日時	平成 30 年 1 月 28 日（日）午前 9 時～午前 11 時
実 施 場 所	旧登米高等尋常小学校校舎（教育資料館）（宮城県登米市登米町寺池桜小路 6）
主 催 者	登米市、登米市教育委員会、登米市消防本部、登米市消防署

## ■実施内容

## 訓練の想定

異常乾燥注意報や暴風警報発令下、教育資料館 1 階校長室から出火、折からの強風に煽られ、国指定重要有形文化財である「旧登米高等尋常小学校」（教育資料館）への延焼の虞があると想定。

## 訓練の内容

指定管理者による火災発見、初期消火訓練、避難誘導訓練、通報訓練、重要物品搬出訓練。自主防災組織及び婦人防火クラブによる初期消火訓練（バケツリレー・訓練用消火器）、応急処置訓練。消防団による火災防衛訓練（防火水槽からの放水訓練）、自主防災組織による火災防衛訓練（放水銃及び消火栓からの放水訓練）。婦人防火クラブによる炊き出し訓練を実施。

## 参加者及び役割分担

とよま振興公社	（15 名）：初期消火訓練（消火器・消火栓）、避難誘導訓練、通報訓練、重要物品搬出訓練
自主防災組織	（126 名）：初期消火訓練（バケツリレー・訓練用消火器）
婦人防火クラブ	（25 名）：初期消火訓練（バケツリレー・訓練用消火器）、炊き出し訓練
消防団	（34 名）：火災防衛訓練（消火栓・防火水槽からの放水訓練）
消防後援会	（15 名）：火災防衛訓練（交通整理・警戒）
登米市消防署津山出張所	（8 名）：防火訓練総括
登米市登米総合支所	（4 名）：地域団体との調整、庶務
登米市教育委員会	（7 名）：総括、受付、司会進行、庶務総括

## 特に工夫した点

平成 17 年の合併以来、毎年開催している文化財講話を開催し、今回は会場となった登米町の文化財にまつわる演題で講話いただくことにより、地域の文化財について再認識していただき、文化財保護思想、文化財愛護思想の高揚を図った。また、昨年同様防火訓練前に実施することで消防関係者も聴講できるよう工夫した。

## 問題点・課題

今回の訓練当日は、数日続いた寒さも緩み、概ね好天に恵まれた。しかしながら、訓練前日には氷点下 17.3 度を記録するなど凍結による訓練への支障も想定されたことから、凍結への対応も予め検討する必要性が浮上した。

## その他

毎年、文化財防火デーにあわせて防火訓練や文化財講話を行うことで、地元消防団や地域住民の文化財愛護意識の高揚を図り、防災の必要性を確認する機会となっており、今後も継続して実施することが重要である。

## 訓練風景

別紙のとおり。



訓練会場(旧登米高等尋常小学校校舎・教育資料館)



訓練会場(旧登米高等尋常小学校校舎・教育資料館)



# 平成29年度登米市文化財防火デー防火訓練・文化財講話



整列



開会式



開会挨拶(教育長)



来賓紹介①



来賓紹介②



訓練説明(消防署職員)



文化財講話①



文化財講話②





文化財講話③



文化財講話④



火災発生(1階校長室)



初期消火訓練①(消火器・公社職員)



避難誘導訓練(公社職員)



通報訓練(第2報・公社職員)



初期消火訓練②(消火栓・公社職員)



非常持ち出し訓練(公社職員)





初期消火訓練④(水バケツリレー)



初期消火訓練⑤(水バケツリレー)



初期消火訓練⑥(訓練用消火器)



応急処置訓練①



応急処置訓練②



通報訓練(救急・自主防)



火災防禦訓練①(消防団放水訓練)



火災防禦訓練②(放水銃・消火栓放水訓練)



参観①



参観②



訓練講評(登米総合支所長)



閉会挨拶(教育部長)



炊き出し訓練①



炊き出し訓練②